

1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

月間	旬別	上旬		中旬		下旬		月間		特記・コメント
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
3月	平均気温（℃）	4.2	2.7	6.3	4.2	9.7	5.6	6.7	4.2	月間平年比+2.5℃（極高）
3月	降水量（mm）	12.5	16.7	33.0	49.8	17.0	28.6	62.5	95.1	月間平年比59%（少）
3月	日照量（h）	83.4	66.6	66.4	67.8	65.6	71.6	215.4	206.0	月間平年比92%（並）

2023 3月気象ポイント

- ◆ 気温：最高気温 23.7℃（3/22） 最低気温 -8.6℃（3/3）
- ◆ 降水量：上旬平年比 75%（やや少） 中旬平年比 66%（少） 下旬平年比 59%（少）
- ◆ 日照量：上旬平年比 125%（多） 中旬平年比 98%（並） 下旬平年比 92%（並）
- ◆ -10℃以下観測：1月 6回（昨年 1月 15回） 2月 5回（昨年 2月 9回） 3月 0回（昨年 3月 0回）

2. 生産の経過・病害虫発生状況・今後の対策

加温ハウス（1/13）：サクランボ 12棟。（R5 計画 13棟） 初出荷：4月2日。

：ハウスもも 1棟 被覆（12/30）加温開始（1/1）発芽（1/29）開花（2/4） 初出荷：5/8 前後。

：ぶどう棟数は昨年並み。初出荷は4月下旬頃。出荷進度は早める見込み。シャインピーク 8月初旬頃。

① 生育情報

現状、平年比△5～7日、昨年比△8～10日。4月も温暖な気象が予想されており、さらに生育が進むことも想される。

発芽（長丘～平岡地区）：プラム太陽 3/23、もも白鳳 3/22、りんごふじ 3/23、和梨南水 3/28、西洋梨ラフランス 3/28

開花予想：プラム太陽 4/4、もも白鳳 4/10、サクラ佐藤錦 4/12、和梨南水 4/15、西洋梨ラフランス 4/16、りんごふじ 4/22

② 生産基盤 2023（推定）

ぶどう 230ha・りんご 144ha・もも 86ha・プラム 35ha・和梨 10ha・桜桃 7ha・柿 6ha・西洋梨 5ha

③ 立ち木 2023

凍霜害対策資材（防霜ロック等燃焼資材、散布資材）の準備を行い、凍霜害に備える。

防霜ファン設置園は、稼働点検を行なう。

結実不安定な品目、品種は必ず人工授粉・相互交配を行ない、結実確保に努める。

④ ぶどう 2023

- ◆ 全体：シャイン・ルージュ自然増見込。巨峰・パープル面積減見込。ぶどう全体の生産量は昨対 110～115%を見込む。小雪・土壌乾燥による発芽不良（バラツキ）が心配される。
- ◆ シャイン重点：適正房作り。糖度アップに向けた管理等強化（早期摘粒・枝管理他）。
- ◆ ルージュ重点：適正房作り。着色向上対策他。

⑤ 病害虫 2023 重点対策

- ◆ 黒とう病：休眠期防除徹底からの初期の密度抑制。小豆大時の粒感染防止強化（生育が進んでいる場合は7日間隔で防除等）
- ◆ 晩腐病：休眠期防除徹底からの初期の密度抑制。巻きひげ除去徹底。梅雨期間の防除徹底。
- ◆ ぶどう主幹害虫：粗皮削り。主幹部への殺虫剤塗布。盛夏期の専用剤の特別散布等。
- ◆ リンゴ腐らん病：R7年ベフラン液剤 25販売終了に伴い、腐らん病の発生密度が高まると予想される。
重症（骨格枝の半周以上が罹患）の場合は切除する。小枝・中枝が感染している場合も同様。
軽症で削り取りを行なう場合は茶色く変色している部分が残らないよう処理する。
剪定後は、塗布剤（トップジンMペースト等）を塗布する。
- ◆ リンゴ褐斑病：剪定時に園内の薬剤到達性を見直す。間伐・縮伐、大枝の整理。